

第 22 期 pES club シナリオ 2

2023 年 2 月 12 日

東京歯科大学 歯科麻酔学講座

吉田 香織

東京医科歯科大学大学院 健康推進歯学分野

南郷 里奈

社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは名羅手部総合病院口腔外科の研修歯科医です。国試に無事合格して第一志望の病院で研修が始まり、2 週間が経ちました。ようやく病院のシステムにも慣れてきたところで、指導医の先生と一緒に紫光琢三さん（80 歳男性）を担当することになりました。

あなた「紫光さんは ICU にいるのですね。ICU へ行くのは初めてです」

指導医「さっき脳外科の先生から口腔ケアの依頼があつてね。紫光さんは昨日、急性硬膜下血腫で開頭血腫除去術の手術を受けたんだけど、まだ挿管されていて、人工呼吸器で管理されているそうだよ」

あなた「挿管中だと挿管チューブがずれてしまわないか心配ですし、口の中も十分診察できない気がするのですが．．．抜管して落ち着いてから口腔ケアを始めるのでも良いのではないですか？」

指導医「人工呼吸器関連肺炎というのがあつて、挿管中の患者は肺炎を起こしやすいんだ。口の中は細菌がたくさんいるから、挿管中でも、肺炎にならないように口腔ケアはした方が良いんだよ」

そうは言っても、口腔内もよく見えないのにそこまでする必要があるのか疑問に思ったあなたは、本当に挿管中の紫光さんに口腔ケアを行った方がいいのか調べてみることにしました。